

公園における大型遊具等の整備について

魅力的な子どもの遊び場の充実が求められる中、既存公園に大型遊具等を整備することにより更なる子育て環境の充実を図る。

子どもの遊び場については、屋内型の遊び場や中長期的な観点からも計画的にバランスよく配置できるよう今後も検討を行う。

1. 整備する公園 別紙

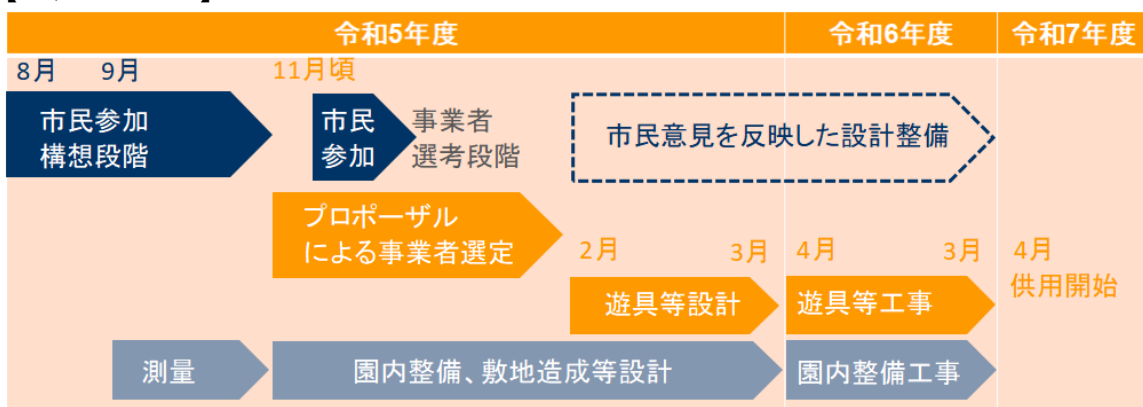
大型遊具等を整備する敷地面積が確保でき、駐車場やトイレなど利用者に必要な施設が整っている「原山市民公園」とする。

2. 整備する遊具

乳幼児用（1～3歳）、幼児用（3～6歳）、児童用（6～12歳）の対象年齢別の複合遊具とインクルーシブ遊具（年齢、障がいの有無などを気にせず誰もが楽しく安心して利用できる遊具）などを整備する。

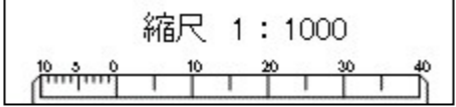
3. 今後の予定

【スケジュール】



【予算規模】

令和5年度	令和6年度
11,100千円(R5.9補正予算) 100プロポーザル審査委員謝礼 1,000プロポーザル参加事業者謝礼 10,000測量・造成計画等設計業務委託	130,000千円(杉崎公園程度) 整備工事費(R5.9債務負担行為補正) +数千万円 敷地造成、園路・あずまや整備など



コンビネーション遊具の対象年齢種別

対象年齢別：1歳～3歳

岐阜ファミリーパーク（岐阜市 2013年）



3歳～6歳

杉崎公園（飛騨市 2022年）



6歳～12歳

杉崎公園（飛騨市 2022年）



大型コンビネーション遊具設置事例

長良公園（岐阜市 2008年）



日特スパークテックWKSパーク（可児市 2022年）



2022年施工の複合遊具。
周りに児童用遊具や大人用健康器具もあり
多くの来園者が楽しめる。

サンコーパレットパーク（瑞穂市 2022年）

